

道東地区教会連合会機関誌



道東 34 こ う ほ う 光 報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.34 Apr., 2015

巻頭言 「近時雑感」 信心で見える

北見教会長 矢代千春

※ISやその他の過激派が起す悲しく残酷な事件を目にしない日はありません。また以前はアメリカとイラク、そしてロシアとウクライナ、また我が国と中国や韓国に対する戦争責任など、こうした争いはどちらも正義を掲げて譲らず、どちらが「悪」でどちらが「善」なのかの判定は簡単ではありません。

例えば、人を殺すのは悪に違いありません。

では、殺さないというのは善なのでしょうか。善というよりも「当たり前」のことと言うべきでしょう。

同じように、物を盗むのは悪、盗まないは善ではなく、「当たり前」。

部屋を散らかすのは悪？散らかさないは善ではない、「当たり前」。

意地悪をするは悪？意地悪をしないは善か、いや「当たり前」のこと等々、皆さんも少し考えてみてはいかがでしょうか。

○
悪といっても色々あるように、善もまた色々なところがあると思います。

従って、私がいまさら言うまでもありませんが、何でも善悪の物差しで測るのは誤りであり、決めつけるのは間違いなのではないでしょうか。

私達は信心する者として、出来るだけ良いとされる人

柄、振る舞いを心がけていますが、教祖様が「良・い・人・と・お・か・げ・を・受・けた・人・は・違・う」とご理解なさっているように、宗教は何も善を為すためのものだけではありません。

○
宗教によつて本当に助けられることは、善悪をはるかに超えたところにあるのだと思います。

○
宗教の仕事の一つに、「当たり前」のことを当たり前と認める「こと」、「当たり前」のことが出来る「こと」があると思います。

先の震災で、失って初めてわかる当たり前の日常の有り難さのように、多くの人は

色々な当たり前を大切にしてい
ないのかもしれない。教会の
当たり前のことに気がつか
ないのは悪ではなく、人間の
愚かさというべきでしょう。

当たり前のことに気づく
こと、当たり前でないことに
気づくこと、そして、本当の
お詫びとは、当たり前のこと
に気づかぬことを詫びるこ
となのです。

※IS(イスラム国)

矢代

教会掲示板

教会からあれこれ

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―三三―六八三五
FAX 〇一五五―三三―六八三五

4月中旬、山積みになった
雪が、天地の働きと共にすつ
かりなくなりました。雪解け

と共に新しい草木のいのち
が育つてまいりました。教会
の境内にも例年より少し早
めに福寿草、クロッカスが咲
き始めました。

日本には二十四節気とい
う季節の分け方があります。
今年の3月6日は啓蟄^{けいちつ}。

柳の若芽が芽吹き、ふきのと
うの花が咲くころ。大地が温
まり冬眠をしていた虫が穴
から出てくるころ。

また、4月20日は穀雨^{こくう}。

田畑の準備が整い、それに合
わせて春の雨の降るころ。穀
雨とは、穀物の成長を助ける
雨のことであるという意味
であります。

このように二十四節気を
とおして、天地の働き、恵み
がよく分かります。日本の日
常生活に馴染み深いもので
す。

そして、その時期に合わせ

て、もうそろそろ山菜の時期
になります。

み教えに、「山にも種々の
物ができ、皮にもいろいろの
魚がいる。海にも種々の魚が
いる。これを漁師が取つて商
人が売買し、だれでも好きな
物を買ひ求めて食べ、体を丈
夫にして世の中のために働
くように神がお守りくださ
れている。なんでも世の中の
実物にあたつて考えれば、し
だいにありがたいことがわ
かる。四季に応じて、毎年、
人間が楽しみ待っている物
ができる。それを買ひ求めて
食べ、体を丈夫にしていただ
けるのである。四季の変わり
は人の力では自由にならな
い。」「天地は語る」第二節
神のはたらき・25」とありま
す。

毎年同じ場所、同じ時期に
ふきのとう、アイヌネギ、う

ど、わらび、ふきなど順番に
出てきます。自分の土地、自
分だけのもの、自分のための
ように思いがちですが、誰の
者でもありません。すべて天
地の恵みです。み教えを頂き
つつ、我欲を張らず、採り過
ぎず、美味しくありがたく頂
きたいものです。春の大祭
の直会には昨年集めた教会
のイチヨウの実を使って「ぎ
んなんご飯」を用意いたしま
す。

(田中)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

信奉者の減少に加えて高
齢化が進み、信徒会活動は
じめ様々なご用奉仕も思う
ように出来ないことが多く
なっています。それでも除雪

のご用はじめ大掃除、草取りや大祭準備など少ない人数ながら心を込めてご用して下さることは本当に有り難いことです。

今後ますます厳しい情勢になるかもしれませんが、教会と神様を中心にして、様々なご用を通して互いに高い理想を育て合い、例えば小さな光であっても、自信を持って人が生きることの喜びを人々に伝える灯を高々と掲げてほしいと思います。

面白いことや華やかな目先の楽しみや喜びは世間にかくさんありますが、真実心の底から「よかったなあ」ということは少ないのがこの頃の世の中でしょう。

「もうらう喜び」より「つくす喜び」を、「ほめられる言葉」よりも「ほめる言葉」を大切に、無償の行為を自分の

修行として私達は信心しています。自分のふれ合う人々に、どれだけ喜んでもらえるか、どれだけ幸せになつてもらえるかを物差しにして、日々の言葉や行為を計っていく暮らしを共に進めて参りたいと願っています。

(矢代)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL ○一五二―四三―三九五四
FAX ○一五二―四三―三九五四

滝上教会

紋別郡滝上町元町土別通り

「あらためてよろしく
お願い致します」

大変ありがたいことに、本年三月七日、函館教会親先生と北見教会矢代先生に式員におつきいただき、在籍のご

信者さんが見守る中、無事に結婚式を挙げる事ができました。

二人の馴れ初めはさておき、このご縁はまさに「神徳賛詞」の「神量らいは奇しくて人の思いぞ及ばざる」この一節です。まあご縁をいただくとは、みなそういうことでしよう。いろんな事柄が重なり合つて、ここに導かれたとしか思えません。タイミングがちよつとでもずれていたなら、私は未だに男やもめでした。

この五年間、私は再婚したばかりに、苦心しながらいいいますか、恥をかきながらお相手をさがしていました。ですが、どうしてもご縁が無く、あきらめムードが漂っていました。今思えば、神様にお任せすることができず、我がはからい、人間考えで、動

いていたのだと思います。

どうやってもうまくいかないものですか、「これはもうしょうがない、自分のことは後回しにして、ご縁がなくとも子供がなくても、将来的にこの教会の後継がスムーズにいきさえすればよい、ご信者さんにもご縁をいただかねばならない方がたくさんおられる、その方々のことを願うことに力を注ごう」との思いにいたりしました。

この先ずっと独り身でもかまわないとの覚悟を決めつつあったのです。断念したと言った方がよいかもしれませんが。とうとう欲を放す時が来てしまったそう思うようになっていました。そんな時に降って湧いたようにこのご縁をいただいたのです。なんと振り返ってもまさに

「奇しくて」との思いになります。

「天地は語る」教典抄に「自分のことは次にして、人の助かることを先にお願ひせよ。そうすると、自分のことは神がよいようにしてくださる。」との教祖様のご理解があります。苦しくしんどいなかにもそれでも「人のことを願えるか？神任せにできないのか？」とお試しをいただいたようにも思えます。

ともあれ、妻もこの道東地区教会連合会に仲間入りをさせていただきました。これから、この地区の皆さんと共に信心を進めて参りたいと存じます。夫婦共々、あらためてよろしくお願ひ申し上げます。

(菊川)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七二一三三三
FAX 〇一五五七二一四二三

「あつ」という間に今年も四月になりました。それにしても今年の二月、三月は毎週吹雪いていたかのように思うほど荒れた天気が続きましたね。

幸い十勝地方は他の地域に比べれば少し穏やかだったのですが、それでも降る雪は多く、教会でも数年ぶりに屋根の雪下ろしをせねばならなくなりました。

屋根の雪下ろしは重労働なのですが、屋根に登る楽しみもあります。なんとと言ってもその見晴らしの良さ。教会は池田町でも高いところにあり普段から眺めはいいのですが、屋根から眺める景色はさらに格別なものがあります。

そして、雪が積もったシーズンだけ眺めることができる特別な景色もあります。

教会は自然公園と住宅街の境にあります。屋根の上から眺めみると、公園と住宅街の間の雪原に無数の細い線があるのがわかります。公園の中にもいっぱい線が見えます。

それは、動物たちの足跡です。エサを探して街に出てくるキタキツネ、林からほんの少しだけ離れてはまた林に戻るユキウサギ、木から下りて雪の下に隠したドングリを探すエゾリス、散歩するネコ等々。

この辺りには季節を問わず動物はいっぱいいるのですが、夏の時期は青草に隠れて動物たちが暮らす痕跡は見えません。冬ならではの景色です。

田村隆一さんの「見えない木」という詩に「雪の上に足跡があつた 足跡を見てはじめてぼくは小動物の小鳥の 森のけものたちの支配する世界をみた」という一節があります。

この辺りの世界の主は人間であるような錯覚に捕らわれますが、実は色々な生き物がそれぞれ主になつて暮らしている。そういうことも教えてくれる大雪の贈り物でした。

(玉置)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四四一三三五一
FAX 〇一五四四一三三六一

「葬儀」

昨年末は11月27日から、12月4日に信奉者のお葬儀を

仕え、年が明けて2月27日に教会長の母が帰幽になり、十日も立たないうちに、3月7日、3月27日と信奉者の帰幽が続いた。

年が明ける前にお亡くなりになられた方は、旬日祭や合祀祭が終わっても、納骨は春になってからと、その予定が続く。

四カ月以内に五人もの帰幽者があつたのは、教会長が鉦路に赴任してから、初めてのことだろうと思う。

もうご帰幽になられたが、かつて池亀徳五郎さんは、「先生は、鉦路に葬儀をするために来たようだ」と話していましたが、それでも年平均すれば三人ぐらいのお葬儀をしていた。

いささか疲れたが、やっと平常心を取り戻しつつあります。

今度は、春のご大祭の参列だが、二教会ぐらい、在籍の百々代先生に変わってもらわなくてはならない。ご迷惑をかけるが、よろしく願います。

(江郷)

平成27年度 道東地区各教会 大祭日程

	春	秋
・鉦路教会	5月24日(日)	10月18日(日)
・北見教会	5月3日(祝)	11月3日(祝)
・十勝教会	4月19日(日)	11月15日(日)
・帯広教会	4月26日(日)	11月8日(日)
・網走教会	5月17日(日)	10月25日(日)
・滝上教会	5月31日(日)	11月1日(日)

行事報告

▼道東地区教会連合会総会(報告)

- ・日時 平成27年3月22日(日)10時30分～15時
- ・場所 鉦路教会
- ・出席者 13名(連合会役員、各教会委員)
- ・内容 平成26年度行事報告・会計報告
平成27年度行事計画・予算

※人事について、各教会の信徒委員のうち各1名(なるべく信徒会長)を幹事とすることが提案了承されました。現行信徒委員幹事(連合会役員)4名が本年度より6名となります。

神人あいよかけよの生活運動

願

御取次を願ひ 頂き

神のおかげに目覚め

お礼と喜びの生活をすすめ

神心となって人を 祈り 助け 導き

神人の道を現そう

※会計について。会計が信徒の場合、その会計が在籍する教会長、教師が監査を行うことになりました。

行事予定

▼平成27年度連合会行事予定

○第15回道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会

- ・当番教会 十勝
- ・日時 6月13日(土)14時から
- ・場所 池田町
- ・終了後懇親会(十勝教会)
- ・参加費等詳細は後日お知らせいたします。

○平成27年度 道東地区教会連合会研修会

- 北海道教区「神人あいよかけよの生活運動」
- ・日時 6月14日(日)午前中
- ・場所 十勝教会

道東地区集会

道東地区教会連合会ホームページ <http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/DOTO>

○役員会

- ・日時 10月3日(土) 15時～17時
- ・場所 北見教会
- ・対象者 連合会役員(会長、副会長、幹事)

▼平成27年度教区行事(連合会が関係するもの)

- 「神人あいよかけよの生活運動」地区集会
- ※6月14日の連合会研修会に併せて実施。

○教区青年の集い「どさんこパーク」

- (帯広・十勝地区開催です!)
- ・日時 7月11日(土)14時～12日(日)12時
- ・場所 帯広教会、帯広市内(競馬場等)
- ・内容 十勝エコロジーパーク(懇親会、宿泊)
- ・内容 ばんえい競馬見学、朝御祈念参拝、金光教クイズ、懇親会など
- ・参加費等詳細は後日お知らせいたします。

○教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」

- ・日時 8月7日(金)15時～9日(日)12時
- ・場所 美瑛町・白銀野営場(白金温泉)
- ・内容 ハイキング、ゲームなど
- ・参加費等詳細は後日お知らせいたします。